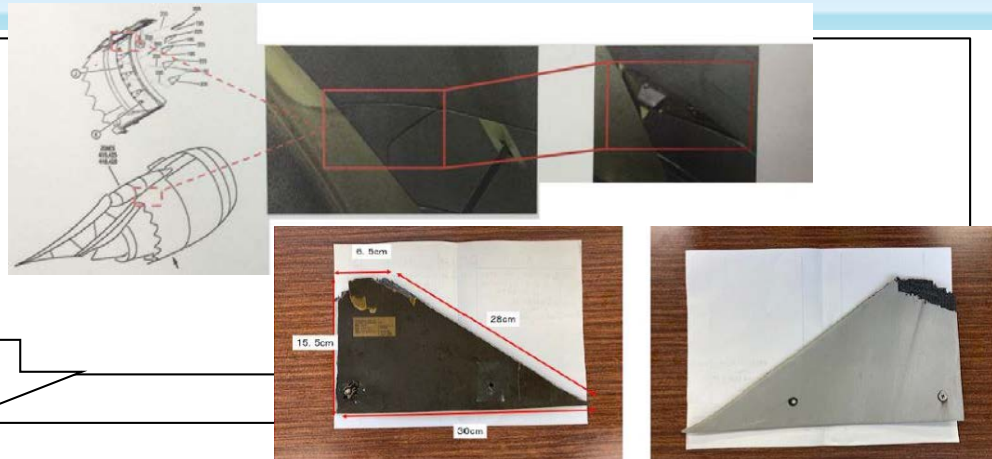


成田空港周辺における落下物事案を踏まえた対応状況について

事案概要

- 発生日時: 2020年3月28日(土)10時10分頃
- 対象機: ANA919便(ボーイング787-9型機 成田発上海行)
- 落下地点: A滑走路南端に隣接する私有地
- 落下物: 15.5cm × 30.0cm × 28.0cm × 6.5cmの台形状パネル、カーボン製、重さ100g
- 人的・物的被害: 特になし



事案発生直後の国土交通省の対応

- ① ANAに対して原因分析及び再発防止を指示。
- ② 同一パネルを装備した同一型式機を運航する本邦及び外国航空会社に対し緊急点検を指示。

ANAグループにおける対応

- ANAによる調査の結果、エンジンの振動によりパネルを止めていたネジが徐々に緩んだ結果パネルが浮き上がり飛散したものと推測。
- 以下のとおり同様のパネルの脱落に係る再発防止策を徹底。
 - ・ メーカーと調整し、当該パネルの点検を点検項目として新規追加するとともに、パネルが脱落しないような取付方法を新たに採用。
 - ・ 他の航空機の類似のパネルについて全数点検を実施。

その他の航空会社における対応

- 一部の外国航空会社を除き、緊急点検完了。
- 残りの外国航空会社については、現在日本への乗り入れを運休中であり、運航再開までに緊急点検を完了予定。

国土交通省としての更なる対策

- ANAが実施する再発防止策の継続的かつ確実な履行を安全監査により随時確認。
- 同一パネルを装備した同一型式機を運航する航空会社に対し、メーカーが新たに設定した点検等の実施を要請した。
- 現在、国内航空会社及び我が国に乗り入れる外国航空会社に対し、新たに設定した点検の実施を義務化する方向で落下物防止対策基準の改正作業中。